



# あたらしい本のしょうかい

斜里町立図書館 (しゃりちょうりつとしょかん) NO. 211 2022. 11

小学生  
向け

1・2年生  
向け

## 『おさほうえほん』

たかはま まさのぶ かんしゅう

「おさほう」ってなんだろう？ じぶんからあいさつをする・ひとはなしをきちんと書く・じゅんばんをまもる…など、じぶんのおもいやりをカタチにして、まわりのひとときもちよくさせる「おさほう」がみつきます。

## 『海<sup>うみ</sup>のがみのゆうびんや』

ミシェル・クエヴァス ぶん

たかだいにひとりさみしくくらしているゆうびんやさんは、うみでまいごになつたがみをとどけるのがおしごと。あるひ、ガラスのビンのなかにはいった、あてさきがなくなぞめいたてがみが、なみにゆられてとどいて……。

## 『みえた！ せかいのうみのふしぎ』

キャロン・ブラウン さく

ちきゅうにある 5 つのおおきなうみにはふしぎがいっぱい。ライトや光でページをてらすと、えがうかびあがって、いろいろないきものたちのうみのなかのくらしがわかります。せかいのうみをたんけんしよう！

3・4年生  
向け

## 『タイピングにやくだつはじめてのローマ字 2』

大門 久美子 編著

小3で習うローマ字。その中でもちょっと難しいにぎる音から、のばす音、つまる音、「や・ゆ・よ」のつく音まで、ローマ字の書き方と読み方が、わかりやすく説明されています。タイピングのためのキーボードの図ものっています。

## 『父さんのゾウ』

ピーター・カーナバス 作

小学生のオリーブにしか見えない、父さんのそばにいる灰色のゾウ。母さんが亡くなってしまったことを、父さんがずっと悲しんでいるからだと考えたオリーブは、おじいちゃんや親友に手伝ってもらい、ゾウを追い払おうとします。

## 『30秒ですぐコワイ！ 学校のミジ怪談<sup>かいだん</sup> 恐怖<sup>きょうふ</sup>の交換日記』

志田 もちたろう 作

佳奈の教室の机の中に入っていた「交換怪記」と書かれたノート。そこには、学校にまつわる怪談が書かれていて……。30秒で読めて、一瞬でゾクとする短い怪談 100話<sup>みじか</sup>がずらりとせいぞろいです。

5・6年生  
向け

## 『押す図鑑 ボタン』

西村 まさゆき 編・著

わたしたちは、一日中ボタンを押しています。ゲーム機のボタン、テレビのリモコンのボタン、トイレのボタン……。世の中にあるさまざまなボタン約 50種類を、交通・飲食・安全対策などのテーマに分けて紹介します。

## 『アンバースデー 上・下』

リズ・ブラスウェル 著

『ふしぎの国のアリス』で7歳だったアリスは18歳に。ある日、アリスは趣味で撮影した写真に写り込んだ、ふしぎの国の住人と、「助けて」というメッセージに気づく。はたしてアリスはワンダーランドを救うことができるのか？！

## 『スパイ暗号クラブ 1』

サマーキャンプの誘拐事件<sup>ちよ</sup>

ペニー・ワーナー 著

コーディの引っ越しにより、9か月ぶりの再会を果たした暗号クラブの5人。夏休みに参加した「スパイ養成講座」の最終日に、大事件に巻き込まれて——?! 自分で暗号を解きながら読み進める『暗号クラブ』の続編の登場です。